

事後評価シート

調査研究課題名	交通分野における企業の社会的責任（CSR）に関する研究
担当者	総括主任研究官 河田 守弘
当初目標と目標達成度	<p>近年関心が高まっている企業の社会的責任（CSR）について、わが国の運輸・交通事業者はどのような対応が求められるのか、各事業者の取組事例を環境問題への取り組みを中心に調査を行った。当初の目標通り、事業者（空運・海運・陸運）ごとの取り組み内容を項目別に整理することができ、今後の検討課題や支援策を導き出すことができた。</p>
調査研究内容の妥当性	<p>企業の社会的責任（CSR）について、国内外の交通事業者に焦点を当てた研究成果はこれまでになく、新規性に富んだ内容となっている。また、本研究では、各事業者の取組分類に基づく比較分析を行ったことによって、その実績や傾向、課題等が明らかとなり、同分野の研究の発展につながる成果を得た。</p>
調査研究の仕組みの妥当性	<p>研究の推進にあたっては、「環境報告書」、「社会・環境報告書」の作成に係る第一線の実務担当者、研究者から成る研究会を開催し、議論を深めながら研究を進めた。また、事務局には類似の研究成果を持つコンサルタントが加わり、最先端の知見を持つ者が意見交換しながら研究を進めることができた。</p>
成果と活用	<p>当研究成果を「モビリティ・マネジメント」研究における基礎データとして活用している。</p>
その他	<p>PRI Review2004 年秋季号に中間報告を掲載済み。</p>
意見	